

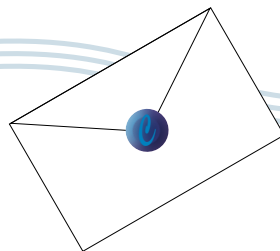


領域代表からのご挨拶

領域課題名	競合的コミュニケーションから迫る多細胞生命システムの自律性
略称	多細胞生命自律性 Multicellular Autonomy
領域代表	井垣 達吏 (京都大学 生命科学研究所)

まだまだ暑い日が続きますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？私は夏生まれだからなのか、暑いのは全然苦ではなくて、夏は最も好きな季節です。毎朝5キロのジョギングをして、ラボに向かって自転車を漕ぎながら、Tシャツと短パンで仕事のできる職業に就けたことに心から感謝します。そしてラボに着くと、今日も一日好きな研究ができること、そのための研究費をいただいていること、ラボメンバーやたくさんの方々、そして家族に今日も支えられていることに感謝の気持ちでいっぱいになります。こうして年々感謝の気持ちが大きくなるのは、これはもう完全に、老化の表現型だと思います。つまり、私の中の多細胞生命自律性が、年とともに少しずつ破綻してきているのだと思います。どの細胞がどのように破綻しているのか、すごく気になります。「細胞競合が起こるのは、そこに細胞集団があるからだ」という名言はどこにもなくて、いま私が作ったのですが、でもそれくらい細胞競合は細胞集団にとって当たり前に行っている現象かもしれません。もしそうであるならば、細胞競合の原理を紐解くことで、これまで見えていなかった多細胞システムの姿が浮かび上がってこないわけがありません。いま、本領域では細胞競合に関する新しい知見が次々と見いだされています。今後の展開が本当に楽しみです。

さて、本年6月より待望の公募班の方々に本領域に加わっていただきました。16名の公募研究代表者の方々、そしてそのラボメンバーの皆さまと一緒に研究させていただくことを大変楽しみにしております。冬には第2回領域班会議を金沢で予定しています。領域メンバー全ての方々と対面でお会いし、議論できることを今から楽しみにしております。



2022年9月9日

領域代表
井垣 達吏